

従業員の皆様へ

自分自身だけでなく、家族と一緒に働く方を風しんからまもるために、下記の対策をご検討ください。

1 妊娠を希望する女性は…

妊娠前に風しんの抗体検査をご検討ください。

※抗体価が低い場合は、予防接種を検討しましょう。

2 妊娠中の女性は…

ご家族の方に風しんの抗体検査を検討して貰ってください。

※抗体価が低い場合は、予防接種を検討しましょう。

※妊婦は風しんの予防接種を受けることができません。妊娠中で予防接種を受けられない場合には、人混みを避けるなど、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けてください。

3 働く皆様方は…

体調不良の時はムリしない

※風しんの感染拡大を防ぐためには、他人にうつさないことが大切です。
※体調がすぐれない場合には、無理して外出しないようにしましょう。
※どうしても外出が必要な場合には、咳エチケットを徹底しましょう。
※風しんを疑う症状(発熱、発疹など)が出現した際は、医師に相談しましょう。

あなたの職場は

風しん予防対策をしていますか？

今、風しんにかかる患者のうち、働く年齢層の方が多くなっています。

最も心配なのは、妊婦を経由して、赤ちゃんが先天性風しん症候群になることです。

事業者の皆様へ

健康で安心な職場の環境整備のため、下記の対策をご検討ください。

1

従業員が**抗体検査や予防接種のために医療機関などの受診を希望**した場合には、ご配慮ください。

2

入社時などに、**予防接種の記録の確認**を本人に呼びかけるようにしてください。

3

職場での感染予防のため、**風しんにかかった人の休暇**についてご配慮ください。



職場での風しん予防対策 Q & A

職場での風しん予防対策が、感染拡大の防止にもつながりますので、予防対策へのご協力をお願い致します。

Q.1 なぜ職場で風しん予防対策が必要なの？

A. 働きざかりの人々がかかることが多いから

- ✓ 全風しん患者の約80%が男性。
男性患者の約70%は20～40代と労働人口と重なります。
- ✓ また、女性患者の約60%も20代～30代。

※2017年の国の調査によると、30代～50代の男性の約15%に風しんの免疫が不十分であることがわかっています。

Q.2 妊婦がなぜ風しんにかかるとよくないの？

A. 目や耳などに障害がある赤ちゃんが生まれる可能性があるから

- ✓ 妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなるなどの障害(CRS:先天性風しん症候群)がある赤ちゃんが生まれる可能性があります。

Q.3 そもそも風しんってどんな病気？

A. 風邪とよく似ているので、感染に気がつかないことがある

- ✓ 主な症状は発疹、発熱、リンパ節の腫れ(3つの主な症状)。この症状がない人も多く、感染しても症状がでない人は約15～30%程度います。通常は自然に治りますが、まれに脳炎など重症化することがあります。
- ✓ 症状が出る前後の約1週間は、周りの人にうつす可能性があり、ウイルスが感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつります。

Q.4 風しんかも、と思ったら？

A. 感染拡大を防止のために、他人にうつさないことが大切

- ✓ 体調がすぐれない場合には、無理して外出しないでください。
- ✓ やむを得ず外出する際は、咳エチケットを徹底し、人混みを避けましょう。
- ✓ 風しんを疑う症状(発熱、発疹など)が出現した際には、医師に相談しましょう。

